

ハーモニカ・カルテット スヴァング

from フィンランド

爆風・爆裂!
ビバ!
ハーモニカ



パシ・レイノ
(ベース・ハーモニカ)

エーロ・グルンドストルム
(クロマチック、ダイアトニック・ハーモニカ)

ヨーコ・クッハラ
(ハーモニカ、クロマチック、
ダイアトニック・ハーモニカ)

エーロ・トゥルカ
(クロマチック、
ダイアトニック・ハーモニカ)

Hello, Hello!
We are SVÄNG
from
FINLAND



聞けば元気になる♪スーパー4人組

2010 5.22 [土] 4:00pm開演 (3:30pm開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
A 4,000円 B 3,000円 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 1/24日 チケット取り扱い お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00AM~5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日 芸術文化センター会員電話予約受付開始 1月22日(金) ※窓口での販売(残席ある場合)は1月26日(火)より

インターネット予約 ▶ <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※未就学児の入場はご遠慮ください。やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



ハーモニカ・カルテット スヴェング

from コンランド

08年9月の衝撃のライブも記憶に新しい、フィンランドのハーモニカ4人組。が、なんと朗報！皆様の熱〜い期待にお応えしようじゃあ〜りませんかと、再来日ライブが決定いたしました！どんな音楽もハーモニカだけで演奏してしまう、とってもユニークなグループ。北欧に伝わる伝統音楽から、タンゴに、ブルース、ラグタイムまで。これまで見たこともないような大小様々なハーモニカをとっかえひっかえ持ち替えて、あんなことからこんなことまで、グフッ、ムフフ♥おロアングリ、目玉テン…。この楽しさ、堪能するなら来るっきゃない！

SVÄNG

スヴェングは、ハーモニカ・バンドの新しい形。2003年にヘルシンキのシペリウス・アカデミーであった師弟プラス1名で結成された。スラブ系のメランコリーがフィンランドや北欧の民族音楽の伝統にとけあった独自の世界は、聴くものすべてを魅了してやまない。スウィングするこの音楽は、すでにドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、オーストリア、ハンガリー、アメリカで大好評を得ている。また地元フィンランドの名門フェスティバル、カウスティネン・フォーク・フェスティバルは彼らを2005年のベスト・バンドに選出している。2007年はワールドミュージックの祭典WOMEXにフィンランド代表として出演。今後ますます目が離せない注目のカルテット。

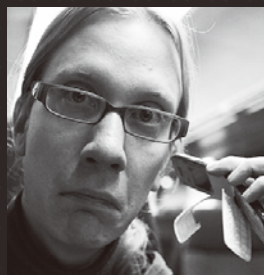


エーロ・トゥルカ

(クロマチック、ダイアトニック・ハーモニカ)

エーロ・Tは、ヨーコ・クツハラの子で、バンドの創始者でもありバンドのほとんどのレパートリーを作曲している。彼はありとあらゆるフォークミュージックに精通しているマルチ・インストメンタリスト。シンガーとしての腕前も相当なもので、なんとモンゴルの咽歌までできるそうだから驚きた。曲の収集力ものすごく、レパートリーの中には、彼の友達のお父さんがロシアとフィンランド

の戦争時代にロシア側の陣地から聴こえてきたメロディという楽曲もある。ロシア側でその曲をレコーディングした人は今のところ見つからないそうだ。バンド唯一の独身者で、ツアー中も女の子をさがすことに努力を惜しまない。翌朝コンサートプロモーターたちは移動する時間になってもあらわれないエーロ・Tをさがしてパニックになるはめになる。歩くことが趣味の彼は、とうとう2ヶ月かけてヨーロッパ全土を歩いてしまったこともある。



エーロ・グンドストルム

(クロマチック、ダイアトニック・ハーモニカ)

エーロ・Gも、マルチ楽器奏者であり、インプロを得意とする優れたミュージシャン。フィンランドで最も重要なプレイヤーとされキーボード奏者、ピアノ奏者としても人気者。多くのアルバムに参加している。バンドの中で一番若い彼は、掛け値無しに一番女性にもてる。彼の髪の毛はナチュラル赤毛で、北方ヨーロッパでは赤毛には魔女がやどるとされるから、彼の赤毛もてる理由だろう。またバンド内No1の批評家で、政治のことについて、世界でおこるありとあらゆる事について、エーロ・Gの心配がたえることはない。彼はいつも自分自身の確固たる意見を持ち、バンドの連中にそれをお行儀よく話して聞かせることもある。長い髪からも、彼が保守的な人間ではないということがみてとれる。



ヨーコ・クツハラ

(ハーモネッタ、クロマチック、ダイアトニック・ハーモニカ)

ヨーコは、シペリウス・アカデミーのフォーク・デパートメントにおけるハーモニカ、インプロ、バンド運営を教える先生である。彼は何年にもわたるハーモニカの研究の集大成である論文を仕上げ世界で初のハーモニカ博士となった。ユーモアの研究も熱心で、バンドのMC担当のヨーコは、ステージでいかに面白いことが言える

かいつも考えをめぐらせている。多くのレコーディングに参加している人気プレイヤーだが、プライベートでは二人の可愛い娘の良きパパ。奥さんもフィンランドの音楽業界で活躍する有名なシンガー。北欧の女性は皆とても強いので二人は家事や育児方針を巡って口論が耐えない。ヨーコ先生は、それも男女平等が進んだ北欧の国に生まれた男性の悲しくも幸せな宿命と受け止めている。



パシ・レイノ

(ベース・ハーモニカ)

パシはバンドの年長者で、多くのハーモニカプレイヤーから尊敬される存在。ドイツでハーモニカバンドのヨーロッパ・チャンピオンシップを獲得したライモ・シールキアというハーモニカ・カルテットに参加し、80年代から90年代の前半にかけて大活躍をしていた。大きなベース・ハーモニカにかかれてステージ上ではほとんど顔が見えない彼だが、ハーモニカの後ろではバンド最高の営業スマイルをしているんだよ、と主張する。自分では一番バンドの中でもてていると思っ

ているが、実はパシによってくるのはいつも高齢のおば様方だけで、若い女性はすべてエーロ・Gに向かうのだそう。二人のティーン・エイジャーの娘はサーカスに夢中でお父さんのコンサートに来てくれないから、パシはいつも寂しい思いをしている。自分の趣味は料理でアジア料理が得意。なんと蛇やねずみを飼っているそうだが、それは奥様の趣味だそうで。

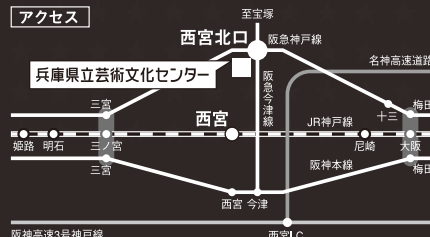


フィンランドってどんな国？

サンタクロース、ムーミン、オーロラ、サウナで有名なフィンランド。「森と湖の国」と呼ばれる通り、国土の約70%が森林、10%を湖沼が占める。夏には太陽の沈まない「白夜」があり、暗い夜には自然の神秘オーロラをみることができる。オーロラは冬にしか見られないと思いがちだが、意外にも8月末から4月上旬までがシーズン。首都はヘルシンキ。国土は、日本よりやや小さい338,000平方キロ、人口は520万人(日本は約378,000平方キロで人口1億3千万人)。



アクセス



○ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
○ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。